



第 58 卷 総 目 次

昭 和 50 (1975) 年

【論 説】

スペルタの対アルゴス策……………	新 村 祐 一 ……(一)
十九世紀西スーダンにおける政治的領域……………	赤 阪 賢 ……(二七)
山門使節制度の成立と展開……………	下 坂 守 ……(六七)
明代兀者衛に関する研究……………	河 内 良 弘 ……(一一五)
伊勢治田銀銅山史の研究……………	小 葉 田 淳 ……(一五三)
エジプトにおけるスーフィー教団と聖者崇拜……………	古 林 清 一 ……(二一一)
ネップへの転換局面……………	尼 川 創 二 ……(二四五)
「アステカ帝国」の成立過程……………	小 林 致 広 ……(二八九)
彫器 研究 法……………	山 中 一 郎 ……(三三七)
フランスサンディカリスム試論……………	谷 川 稔 ……(三六三)
室町幕府最末期の京都支配……………	今 谷 明 ……(四〇五)
殷代の宗教と社会……………	伊 藤 道 治 ……(四四二)
ミヤケの地理的実体……………	千 田 稔 ……(四七三)
農民休日運動とニュー・デイル農業政策……………	紀 平 英 作 ……(五一〇)
隋代郷里制に関する一考察……………	気 賀 沢 保 規 ……(五六七)
唐代青海周辺の諸城塞について……………	佐 藤 長 ……(六三三)
李朝における同族共同体の成立と郡県制……………	金 藤 鴻 植 ……(六五四)

ヨアンネス・サレスベリエンシスの学芸観	田中峰雄	五	(六八八)
臨時政府期におけるエスエルの農業政策についての一考察	一色義和	五	(七二九)
没官領・謀叛人所帶跡地頭の成立	大山喬平	六	(七八九)
経済思想から見た福沢諭吉と康有為	彭沢周	六	(八二三)
インノケンティウスⅢ世と第四回十字軍	八塚春児	六	(八四九)
第一次国共合作時期の広東省農民運動	北村稔	六	(八八九)

【ノート】

イラン国ボレ・ノウ村の農地売買契約文書について	勝藤猛	四	(六〇六)
地方頭人考	小林保夫	五	(七六六)
唐末藩鎮の軍構成に関する一考察	大沢正昭	六	(九二八)

【書評】

C. Johnson, Utopian Communism in France. Cabet and the Icarians, 1839-1851.	谷口健治	三	(四五七)
安丸良夫著『日本の近代化と民衆思想』	宮田登	三	(四六三)
泉谷康夫著『律令制度崩壊過程の研究』	戸田芳実	五	(七七八)
古賀秀夫著『チャーチスト運動の研究』	武居良明	六	(九四五)

【紹介】

『知恩院史料集』日鑑・書翰篇一	一	(一四七)
茨城県史編さん中世史部会編『茨城県史料』中世編Ⅱ	一	(一四八)

奈良国立文化財研究所編『平城京朱雀大路発掘調査報告』……………	二	(三二九)
高橋三知雄・網干善教・奥村郁三・有坂隆道共著『高松塚論批判』……………	二	(三三一)
シヨセフ・ストレイヤー著 鷺 見 誠 一 訳『近代国家の起源』……………	三	(四六八)
『かわにし 川西市史第一巻』……………	四	(六二六)
三木与吉郎編『阿波藍譜』史料篇……………	四	(六二八)
勝田勝年著『新井白石の学問と思想』……………	五	(七八四)

【会 告】

『史林』投稿規定……………	二	(三三三)
バックナンバーのお知らせ……………	二	(三三三)
史学研究会役員の異動……………	四	(六二九)
郵便料すえおきの要望書……………	四	(六二九)
『史林』投稿規定……………	五	(七八五)
バックナンバーのお知らせ……………	五	(七八五)